日耳鼻医会FAXニュース　NO 108

平成17年11月24日　発行（特）日本耳鼻咽喉科医会　E-mail jimu@jenti.or.jp　HP http://www.jenti.or.jp
〒104-0031 東京都中央区京橋2-11-8　全医協連会館5F　FAX 03-5524-5228　TEL 03-5524-5230

～国民に高負担を求める医療保険制度改定に
反対しましょう～　署名運動にご協力下さい

○来年４月より、高齢者を中心に、患者負担金が大幅にアップされようとしています。日本の財政は危機的状況にありますが、この失政のしわ寄せが各方面に及び、今医療の方に向けられています。日本の医療費は先進国の中では低く、医療水準も高く、誰でも平等に医療を受けられる制度です。WHOより世界で模範とすべき制度として高い評価を得ています。この制度を壊す方向には反対です。

○「民でやれる事は民でやる」との名のもと、国民皆保険制度の中に、最新医療、高額医療に対し、民間の保険会社が参入しようとしています。アメリカ、日本の「経済財政諮問会議」も後押ししています。実施されれば「長生きしたければ、もっとカネを払え、人の命もカネ次第」ということになります。これらは絶対に阻止しなければなりません。医療に貧富の差をつけることには反対です。

国民皆保険制度を守り、負担をなるべく少なくし、よりよい医療になりますよう、署名運動にご協力お願いします。

日本耳鼻咽喉科医会

□経済財政諮問会議の提案（抜粋）

1. 医療費総額の伸びの抑制　2. 医療サービス効率化の策定　3. 患者の一部負担金増の検討　4. 病床数の削減　5. 包括医療の導入検討　6. 定額医療の導入検討　7. 医療の標準化　8. 保険者と医療機関の直接的契約の推進による割引率の拡大検討　9. 営利企業による病院経営を提案　10.医療制度の見直し(保健者の統合と再編)

◎平成17年度第１回医会長協議会ご案内

【日時】平成 17 年 11 月 27 日（日）午後１時～
【場所】日耳鼻医会事務所　後場所移して懇親会
【講演】「医療制度構造改革試案」について
厚労省老人医療企画室長　濱谷浩樹氏
【報告事項】１.「東京フォーラム」について
２.「愛媛フォーラム」について　３．その他
【協議事項】１．診療報酬の「包括評価」について
２.「実地医家は米国型医療制度改革をどう乗り切るか」
－ 石川義弘論文より－　３．その他

◎平成１６年度医療費の動向

＊医療機関種類別の概算　医療費より

（II）主たる診療科別医科診療所医療費の推移

（単位億円）	診療所計	内科	小児科	眼科	耳鼻科
平成12年度	73,593	35,954	3,137	5,808	3,532
平成13年度	75,550	37,156	3,242	5,925	3,589
平成14年度	72,944	36,275	3,206	5,772	3,451
平成15年度①（構成割合）	73,753 (100%)	36,296 (49.2)	3,235 (4.4)	5,875 (8.0)	3,463 (4.7)
平成16年度②（構成割合）	75,603 (100%)	37,125 (49.1)	3,363 (4.4)	6,075 (8.0)	3,638 (4.8)
②－①	1,850	829	128	200	175

（III-1）耳鼻科診療所医療費動向（入院外－支払基金分）

	件数（件）		医療費	（千円）
	平成１６年	対前年比%	平成１６年	対前年比%
計	30,641,389	7.4	229,457,205	5.8
4月	2,666,135	▲3.1	20,195,400	1.3
5月	2,520,143	▲3.1	18,668,617	▲5.2
6月	2,432,714	5.2	18,445,134	5.3
7月	2,008,709	▲2.9	15,406,517	▲3.4
8月	1,778,103	0.3	13,019,409	0.5
9月分	1,918,775	▲1.3	14,339,438	▲2.5
１０月分	2,452,364	▲0.4	18,507,723	▲3.7
１１月分	2,513,543	15.4	19,359,506	16.7
１２月分	2,658,529	11.0	20,878,985	8.8
1月分	2,519,992	10.8	18,460,586	5.6
2月分	3,064,627	11.5	22,660,570	7.9
3月分	4,107,755	35.9	29,915,338	29.7

●初診料引き上げの提案も

厚労省は初・再診料の見直しに着手する考えのよう。現在、初診料は病院で 255 点、診療所で 274 点。再診料は病院で 58 点、診療所で 73 点で、200 床以上の病院は一定の検査があらかじめ包括されている外来診療料として 72 点を算定できる。初診料について厚労省は、患者との対話を評価するコンサルテーションフィーを充実させる点から引き上げた上で、検査などを包括する提案をするとみられる。また、日本病院団体協議会などが求める複数科での初・再診料の算定についても、専門性や質の高い医療が提供されることなど一定の条件付きで認める方向性を示した。（メディファクスより）

■青汁（ケール）がヒスタミン遊離抑制に関与

盛岡市で開かれた第 55 回日本アレルギー学会秋期学術大会で、ファンケルの総合研究所（横浜市）は、同社が販売している青汁の原料であるケールが、肥満細胞からヒスタミンの遊離を抑制する効果を確認したと発表した。ケールはキャベツやブロッコリーの原種で産地は南ヨーロッパ。「究極の緑黄色野菜」ともいわれている。